

申し入れ書

2015年6月30日

原子力規制委員会委員長 田中俊一 様  
厚生労働大臣 塩崎恭久 様

安全なふる里を大切にする会

石地 優

福井県三方上中郡若狭町気山145-6-1

私は高浜原発から30km圏内に入る福井県若狭町に住んでいます。廃止処置が決まっているふげんを含め15基もの原発が約80kmの距離の中に林立する地で暮らしています。もんじゅのナトリウム漏れ火災事故や美浜原発の蒸気発生器伝熱管破断事故、蒸気噴出死傷事故など重大事故も多く経験しています。加えて活断層の巣と言われ、いつ大地震が起きてもおかしくない所で暮らし、過酷事故が起きれば避難するまともな道也没有せん。

そのような状況下で、今、国や関西電力は高浜原発3・4号機の再稼働を私たちに押し付けようとしています。若狭に住んでいる多くの人は賛成反対に拘わらず、原発のことを「ええもんじゃない」と思っています。事故になったら避難できるのか心配しています。

そして今、再稼働に加えてあろうことか原発労働者の被ばく限度を引き上げようとしています。

原子力規制委員会や厚生労働省の役目は国民の生命、健康、財産を守ることではないのですか。放射能を出さないようにすること、被ばく者を出さない、被ばくにより健康を害する人を増やさないようにすることが一番の仕事ではないのですか。

- ・原子力規制委員会は、再稼働に向けての審査を止めて、福島事故による放射能汚染対策に尽力すべきです。
- ・厚生労働省は、福島事故で被災した人たちの健康を守る施策や作業被ばくを下げることに尽力すべきです。
- ・原発再稼働や被ばく限度の引き上げは、それらに逆行することです。速やかに中止することを求めます。